

医療用ガウン及び現金をご寄附いただきました！

～病院内での新型コロナウイルス感染症の対応等に活用させていただきます～

令和3年5月21日（金）に、ラグビー関係者による医療従事者への支援活動を行っている「**RUGBY AID**（ラグビーエイド）」から、横浜市立市民病院に対し、医療用ガウン及び現金の寄附をいただきました。

いただいた医療用ガウン及び現金は、病院内での新型コロナウイルス感染症の対応等に、有効活用させていただきます。

1 寄附者

「ラグビーエイド」キャプテン 深尾 敦 様

（ラグビーエイド運営母体 エーテック有限会社 代表取締役）

2 寄附内容

(1) 医療用ガウン（使い切りディスポガウン） 3,024 着

医療用ガウン→

(2) 現金 25 万円

3 活用方法

市民病院における新型コロナウイルス感染症対応を含め、市民病院の診療機能の向上に活用させていただきます。



4 贈呈式

(1) 日時

令和3年5月21日（金）13時から

(2) 場所

横浜市立市民病院 管理棟4階特別会議室

(3) 出席者

ア ラグビーエイド

(ア) キャプテン（代表） 深尾 敦（ふかお あつし）様

全国のラグビーキッズ応援サイト「**Rkids**（ラグビーキッズ）」を運営するエーテック有限会社代表取締役。小学生唯一のミニラグビー全国大会「ヒーローズカップ」を主催するNPO法人ヒーローズ代表理事。

(イ) バイスキャプテン 菊谷 崇（きくたに たかし）様

元ラグビー日本代表。ラグビーワールドカップ2011ニュージーランド大会では日本代表主将を務める。68キャップ。御所工業高校、大阪体育大学を経てラグビートップリーグ入り。イングランド挑戦を経てキャノンイーグルスで引退（2018年）。現在、小学生を対象としたスポーツ教育事業 **Bring Up Academy** を運営。



贈呈式の様子

イ 市民病院

病院長 小松 弘一

(4) その他

式の写真をご希望の場合は、裏面のお問合せ先までご連絡ください。

裏面あり

5 贈呈にあたってのコメント（ラグビーエイド キャプテン 深尾 敦 様）

横浜は、ラグビーワールドカップ 2019™ の決勝戦が開催され、また小学生唯一のミニラグビー全国大会「ヒーローズカップ」が開催されるなど、ラグビーを大きく盛り上げていただいている街だと感じています。横浜から発信されるラグビーを通じて、ラグビーファミリーとして大きな感動をいただいています。

このたびはラグビー関係者から横浜への感謝のしるしとして、横浜市を通じて、横浜の医療従事者の方々、特に、第一種感染症指定医療機関として、初期から新型コロナウイルス感染症の対応をされている横浜市立市民病院の皆様をサポートさせていただきたい思いで、寄附をさせていただきました。

6 御礼のコメント（市民病院 病院長 小松 弘一）

この度、RUGBYAID様から、ガウン等の寄附を頂戴しました。心より厚く御礼申し上げます。ご寄附いただいたガウン等については、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、市民病院の診療機能向上のために大切に使用させていただきたいと思っております。

依然として緊張状態が続く医療現場のスタッフにとって、皆さまからの温かいご支援、ご声援が何よりの励みになっています。これからも全職員が一丸となり、安心・安全な医療を提供できるよう、努めてまいります。

<「RUGBYAID（ラグビーエイド）とは>

ラグビーを愛する人たちが、新型コロナウイルス感染禍で医療現場の最前線で新型コロナウイルス感染者の看病や感染防止のために働いてくれている、医療従事者の皆さんへのサポート活動を目的として立ち上がった活動。

過去2回（2020年）、ラグビーエイドでクラウドファンディングを実施し、1,000万円を超える支援金を集めました。今回の寄附は、ラグビーエイドで行った第3回のクラウドファンディング及びネットオークションで募ったものになります。



お問合せ先

【寄附、贈呈式について】

市民病院総務課長 木村 洋 Tel 045-534-3610

【ラグビーエイドについて】

ラグビーエイド キャプテン 深尾 敦 Tel 06-6867-4455（エーテック有限会社）